



United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

関東ブロックユネスコ活動研究会 in 群馬

2014年10月25日(土)、群馬県高崎市で関東ブロックユネスコ活動研究会が開催されました。会場は、午前の部は『高崎シティギャラリー』、午後の部は『高崎ビューホテル』で行われました。

東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県の各都県で、ユネスコ運動を展開しているユネスコ協会、約50団体のメンバーが集いました。

午前の部では、オープニングセレモニー、開会式、基調講演などが行われました。

基調講演は、第8代ユネスコ事務局長(1999年~2009年)を10年間された松浦晃一郎氏によるもので、演題は、「持続可能な社会の創造と実現」でした。

今後、ESD: Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育、下の言葉の意味を参照してください)を行う上で大変に示唆に富む講演となりました。

午後の分科会では、今後のユネスコ運動の方向付けや新会員獲得のための新しい方法、また、群馬県富岡市の「富岡製糸場と絹産業遺産群」がユネスコ世界遺産に登録されたことをうけた事例発表などそれぞれのテーマごとに、4つの各分科会で報告されました。

各分科会のテーマは次のとおりです。

- ◎第一分科会「世界遺産・地域遺産」
- ◎第二分科会「ESD、ユネスコスクール」
- ◎第三分科会「異文化理解、国際交流」
- ◎第四分科会「ユネスコ：活動運営、活性化」



講師：松浦 晃一郎氏



分科会での質疑応答の様子

ESD活動について

ESDとは、社会の課題と身近な暮らしを結びつけ、新たな価値観や行動を生み出すことを目指す学習や活動です。例えば、持続不可能な社会の課題を知り、その原因と向き合う。それらを解決するためにできることを考え、実際に行動する。そのような経験を通じて、社会の一員としての認識や行動力が育まれていきます。

ノーベル平和賞受賞

マララ・ユスフザイ (Malala Yousafzai)

貧困、無学、不正、人種差別、基本的権利の剥奪などの問題に、傷ついた多くの人の中から、一人の少女が立ち上がり非暴力を訴えました。2012年10月9日、タリバンに襲撃され、現在は治療と安全確保のためにパキスタンを離れ、イギリスで生活しています。



「教育を第一に (Education First)」と「平和」への願いを、国連でのスピーチで次のように訴えました。

One child, one teacher, one pen and one book can change the world.
Education is the only solution. Education First.

*** 訳: 1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。**

◇◇エデュケーション・ファースト(教育を第一に)◇◇

そして、①平和に生活する権利 ②尊厳をもって扱われる権利
③均等の機会の権利 ④教育を受ける権利

皆さんも平和の大切さを考えるとき、マララ・ユスフザイさんの国連での演説をぜひお読みください。このメッセージは、「ひとりひとりの心の中に平和の砦を築くこと・・・」というユネスコ精神にも通じています。

開倫ユネスコ協会では、毎年「平和の鐘を鳴らそう運動」を行っています。次の内容が「平和宣言」です。

1. 「すべての人の生命を大切にします」
2. 「どんな暴力も許しません」
3. 「思いやりの心を持ち助け合います」
4. 「相手の立場に立って考えます」
5. 「かけがえのない地球環境を守ります」
6. 「みんなで力を合わせます」

日本ユネスコ協会連盟 第34回評議員会

2014年11月1日(土)、日本ユネスコ協会連盟主催の第34回評議員会が開催されました。全国には、255の民間ユネスコ協会があります。1947年、仙台で生まれたユネスコの歴史は約70年になります。ユネスコ会員は、高齢化が進んでいます。優れた伝統にうえに新たな展望をどのように拓くか、などの議論が積極的に行われています。また、ESD活動とユネスコスクールの普及を推進することがユネスコの発展には不可欠であり、会員獲得や拡大のためには「ホームページ」の活用、マスコミなどを使った「広報活動」なども大切である、ということがこの会議で話されました。

